

## 5 社会教育

### (1) 誰もが学習しやすい環境づくり

#### 【現状と課題】

本市にあっては、はつかいち文化ホール（さくらびあ）、はつかいち市民図書館、廿日市市スポーツセンター（サンチェリー）をはじめとした文化・スポーツ施設や、市民センターが概ね小学校区を基本に整備され、学習活動の場が充実している。また、市民センターについては、まちづくり団体や地域住民自治組織を中心に、市民に身近なまちづくりの拠点ともなっている。

これらの強みを生かしつつ、学習は社会全体の活性化につながるものであるとの視点に立ち、市民が自らのニーズに基づき、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習したり、様々な活動に取り組んだりすることができるよう学習環境のさらなる充実を図ることが必要である。

また、個人や地域社会の自立が促進されるよう、社会の変化に対応できる力を身に付けた人材を育てることも必要である。

#### 【平成 27 年度当初予算の主な事業】

##### ① 多様な学習機会の充実

○ 学習ニーズに応じた講座等の実施（公民館活動一般事業）（地域政策課） 6,628千円  
市民へ様々な学習機会を提供するため、まちづくり・人づくりにつながる講座や教室を中心に多様な事業を開催する。

○ 平和事業の取り組み（公民館平和教育推進事業）（地域政策課） 1,060千円  
生命の大切さや平和の尊さについて共に考える機会を提供するために、市民が参画する事業を実施する。

○ 市民センターの地域による管理運営（公民館管理運営事業（政策））（地域政策課） 33,731千円

市民センターが、地域のニーズに応じた事業実施や生涯学習・まちづくりの拠点としての機能を発揮できるよう、佐方市民センター及び串戸市民センターの管理運営を地域へ委ねる。

○ はつかいち文化ホール等の指定管理者による管理運営（はつかいち文化ホール等管理運営事業）（文化スポーツ課） 225,554千円

市民サービスの向上により効果的な施設の活用を図り、市民の芸術・文化活動の普及振興に寄与するため、さくらびあ及び美術ギャラリーについて（公財）廿日市市文化スポーツ振興事業団による管理運営を行う。

○ さいき文化センター管理運営事業・さいき文化ホール管理運営事業（文化スポーツ課） 26,471千円

佐伯地域における文化振興の拠点として、さいき文化センターの管理及び文化事業の企画、実施を行うとともに、文化活動団体への支援を行う。

- スポーツセンター等の指定管理者による管理運営（スポーツセンター等管理事業）（文化スポーツ課） 233,394千円

市民サービスの向上とより効果的な施設の活用を図り、市民のスポーツ活動の普及振興に寄与するため、廿日市市スポーツセンター、峰高公園多目的広場、佐伯総合スポーツ公園、廿日市市サッカー場及び廿日市市パークゴルフ場について、指定管理者による管理運営を行う。

- アジアトライアスロン選手権の開催（アジアトライアスロン開催事業）（アジアトライアスロン大会事務局） 26,280千円

市の活性化と世界へのPRのため、平成28年度に実施するASTCアジアトライアスロン選手権開催に向け、大会への機運を醸成しながら、市民の理解、協力を得て大会開催準備を進める。

- 図書館活動事業（はつかいち市民図書館）《再掲》 23,985千円

教養・趣味・娯楽を含めた住民の知的要求に応えられる蔵書構成となるよう、資料の充実に努める。

## ② 学習しやすい場の整備

- 生涯学習・まちづくり拠点施設の整備（生涯学習施設整備事業（政策））（地域政策課） 749,530千円

多様な学習の機会を提供し、生涯学習・まちづくりの拠点施設としての環境を整えるため、老朽化した中央市民センターの建替え等を行う。

- （公財）廿日市市文化スポーツ振興事業団補助事業（文化スポーツ課） 38,899千円

市民の芸術・文化活動の普及振興に寄与するため、（公財）廿日市市文化スポーツ振興事業団へ補助金を交付し、さくらびあや美術ギャラリーなど市内の文化施設を生かした事業の展開を支援する。

- 市民センターのバリアフリー化（公民館維持管理事業）（地域政策課） 254,866千円

誰もが利用しやすい施設とするため、エレベーターの設置やトイレの洋式化などを行う。

- サッカー場人工芝張替え（体育施設整備事業）（文化スポーツ課） 135,000千円

利用頻度の高さから、磨耗が進んだ人工芝を張り替えるとともに、アンダーパッドを採用することで、利用者の身体的負担の軽減・競技力の向上を図る。

## (2) 学びにより人と人がつながる環境づくり

### 【現状と課題】

総合計画では、人と人がつながり、信頼し合い、それをエネルギーとしたまちづくりを進めることを謳っている。

生涯学習・社会教育は、地域社会と深く結びついており、その学習活動の多くは、仲間とともに行なわれ、人に喜んでもらえることや地域に役立つことが、大きな生きがいとなる。

市民が、学習活動を通して活発に交流し、連帯感を培い、人を育むことにより豊かな地域社会の構築にもつながるものである

本市では、これまでの生涯学習・社会教育活動、ボランティア活動や地域づくり活動の中で、地域に貢献したいという人が増加している。

今後、市民が自分の住む地域に関心を高め、人と人のつながりがより促進されるよう、自主活動団体の育成・支援や学習活動を支える人材を育てていくことが必要である。

### 【平成27年度当初予算の主な事業】

#### ① 自主活動団体の育成支援

##### ○ 文化振興事業（文化スポーツ課）

6,359千円

市民の文化芸術活動の充実を図るため、こころの劇場及び移動文化教室の開催、市美展の開催や文化芸術関係団体の活動を支援する。

##### ○ スポーツ振興事業（文化スポーツ課）

32,568千円

生涯スポーツの振興を図るため、スポーツ推進委員活動及び社会体育関係団体を支援するとともに、各種スポーツ大会などを実施する。

### (3) 学んだ成果をひとづくり・まちづくりにつなげる支援

#### 【現状と課題】

近年の生涯学習社会では、学習機会の充実のみならず、学習した成果を地域社会の中で生かすことも求められている。

このような中、本市にあっては、生きがいづくりや自己実現を図る一環として、ボランティアや地域づくりなどの活動のための学習支援に取り組んでいる。また、学習活動の結果、市民講師として活躍する学習者も増えつつある。

今後は、学習した成果が地域社会における様々な活動に生かされ、社会の活性化につなげることが重要である。特に、定年を迎えた団塊世代をはじめ、中高年者の力を有効に活用することが必要である。

#### 【平成27年度当初予算の主な事業】

##### ① 学習成果を発表する場の提供

##### ○ 生涯学習推進事業（生涯学習課） 4,606千円

市民が生涯を通じて、あらゆる機会に、あらゆる場所において行う学習を支援するとともに、その成果が生きがいと豊かな生活を築くことに生かされるよう、生涯学習推進事業などを行う。

##### ② 学習成果を生かす仕組みづくり

##### ○ 学校支援地域本部事業（生涯学習課）《再掲》 13,604千円

地域ぐるみで、学校教育や子どもたちの健やかな成長を支援することを通して、地域と学校の風通しの良い関係やそれぞれの学校・地域ごとに子どもを見守る新たなかたちをつくるため、地域における学校応援団である「学校支援地域本部」の設置に取り組み、その運営について、補助、助言、活動支援を行う。平成27年度は新たな学校区（2校区）での体制づくりに取り組む。

#### (4) 地域の教育力を生かした子どもの健全育成

##### 【現状と課題】

次代を担う子どもの健全育成は、地域社会全体の課題である。子どもが健やかに成長していくためには、学校だけでなく、家庭及び地域住民が一体となって子どもを育成していく必要がある。

本市においては、地域の人材を活用した文化・スポーツ活動の実施、家庭教育講座の開催、見守り活動などの取り組みを実施しているが、家庭・地域の教育力を向上させ、地域社会全体で子どもを育成する取り組みのさらなる充実が求められている。特に、地域の大人は、その地域の子どもの保護者であるという意識を持ち、地域の子どもの育成にかかわっていくという価値観を共有することが大切である。

##### 【平成27年度当初予算の主な事業】

#### ① 家庭・地域の教育力向上のための支援

##### ○ 学校支援地域本部事業（生涯学習課）《再掲》 13,604千円

地域ぐるみで、学校教育や子どもたちの健やかな成長を支援することを通して、地域と学校の風通しの良い関係やそれぞれの学校・地域ごとに子どもを見守る新たなかたちをつくるため、地域における学校応援団である「学校支援地域本部」の設置に取り組み、その運営について、補助、助言、活動支援を行う。平成27年度は新たな学校区（2校区）での体制づくりに取り組む。

#### ② 地域社会全体で子どもを育てる取り組みの充実

##### ○ チャレンジ学校づくり支援事業（生涯学習課）《再掲》 516千円

小規模校に通う児童の豊かな人間性や社会性、自ら考えて行動できる力などを育み、特色ある学校づくりを行うため、小学校3・4年生を対象とした授業交流や、自然体験活動、地域の行事への参加などを行う。

## (5) 文化財の継承・活用

### 【現状と課題】

本市には、世界文化遺産「厳島神社」をはじめとした数多くの文化財や伝統芸能が継承されており、これらは、長い歴史と伝統の中で、守り伝えられてきた地域の財産である。

近年、少子高齢化やコミュニティの衰退により、地域に伝わる伝統芸能などが消失する懸念があり、これらを積極的に保存・保護し、活用していくことが求められている。

地域の特色ある伝統芸能や文化を未来へ継承し、活用していくことは、地域の自然、文化や歴史を学び、地域への愛着と誇りを感じられるような地域づくりへとつながる。

また、子どもに地域の伝統芸能や文化に触れさせることにより、地域の伝統や文化を尊重し、より豊かなものへと発展させていこうとする態度を養うことも必要である。

さらに、伝統や文化を継承しつつ、それらを生かした施策の展開が求められている。

### 【平成27年度当初予算の主な事業】

#### ① 文化財の保存・保護

- 国宝厳島神社本社本殿附玉垣などの保存修理（文化財保存・保護事業）（文化スポーツ課）

12,433千円

厳島神社が行う保存修理に要する経費の一部を補助し、国重要文化財の保存を図る。